

北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第728号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円会費を含む)
●発行日—平成30年9月1日
●発行所—社団法人北海道手をつなぐ育成会
〒060-0002 札幌市中央区
北2条西7丁目かでの2・7(4F)
電話 011-251-0855
FAX 011-251-0804
Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp
●発行人—佐藤春光
印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

第12回 本人の会全道交流会

ひろげようみんなのわ

緑の大地、澄んだ空気、美味しい水

パワースポット羊蹄山のふもとにて



8月11日(土)倶知安町を会場に、支援者を含む全道から約60名の参加者が集い、本人の会全道交流会が開催されました。

この取り組み

は、公益財団法人北海道新聞社会福祉振興基金の助成をいただき、「ひろげようみんなのわ」を合言葉に今回で12回目を迎えます。知的なハンディがある仲間たちが、悩みを交流したり、様々な体験を共有することによって、互いにつながりを深め、気分を和らげたり、困った時に助け合う関係づくりをめざします。

また、こうした取り組みを通じ、本人の会のない地域へは、会づくりの支援も含んでおり、現在まで、伊達市(第4回)、旭川市(第5回)、函館市(第6回)、釧路市(第7回)、白老町(第9回)当麻町(第11回)等、毎年、全道各地を開催地として巡っています。



さて、「くつちゃん温泉ホテルよいてい」を全体会場として開会式が行われ、倶知安町手をつなぐ親の会 本人の会「倶知安 かがやきの会」代表、北川さんから「まだまだ至らないところがあると思いますが、今日一日、それぞれの分科会に分かれ、後志の思いを心に刻んでいただきたい。」と歓迎の挨拶がありました。

その後、各会場にバスで移動し、午

前中は、4つの分科会(体験)に分かれて、仲間、支援者達と共に楽しく過ごしました。

「羊毛フェルトで、袋づくり体験」
「木の実でフォトフレームづくり体験」
「ひたすら混ぜてアイスクリームづくり体験」
「バンダナに草木染め(絞り染め)体験」

2時間程度の体験後は、ホテルに戻り、昼食。倶知安町手をつなぐ親の会の古くからの正会員でもある「ホテルよいてい」さんには、味噌汁サービス等、色々ご配慮をいただきました。

午後からは、参加者による体験発表、全体交流で大変盛り上がりしました。

閉会式では、準備をいただいた、後志手をつなぐ育成会連絡協議会へ、参加者一同によ

る拍手をもって感謝の意を表しました。

この日、スタートは、あいにくの曇り空でしたが、帰りには陽がさし始め、参加者一同、「山の日」にふさわしい一日を過ごすことができました。



「心一つに、つながる未来」を大会テーマとし、7月28・29日第63回北海道手をつなぐ育成会全道大会苫小牧大会が貴重な成果を上げ、無事終了することができました。全道各地から寄せられた、ご支援とご協力に心からお礼申し上げます。つきましては、大会報告を兼ね、2回に分けて分科会等の様子を伝えします。今号は本人大会の内容が中心です。

新たな本人活動の場

『チャレンジド』

障がいをもった人にとらえ、社会の中で意欲的に生きていきたいという願いと決意が込められたことば、「チャレンジド」。

比較的、見守りや、支援が必要な方々、（もちろん希望されればどなたでも）を対象とし、苫小牧大会で、4回目を迎えます。二日間にわたって開催されるこの取り組みには、総計31名の方々の参加がありました。

私たち支援者は、参加者に色々なことにチャレンジしてもらいたいという思いで、1日目は「Tシャツ染め」「アイシングデコクッキーづくり」



「茶道」といった体験コーナーを用意。みなさん、そのどれもが初体験だったようで、興味津々、真剣に取り組まれていました。

茶道体験では、実際に飲んでみると、口には出さないものの「美味しい」という表情が読み取れました。お茶をたてることに意欲的な方がいる一方、飲む方が得意といった方も。

2日目は、曲に合わせて旗をもつて振りつける踊り、『カラーガード』。前日に染めた「Tシャツ」を着て午前中は練習。正午、1600人収容できる会場の大舞台で披露。ほとんどの参加者が、これほど大きなステージに立つのは初めての体験。興奮と緊張の中、見事に踊りきり、見守る客席からは、称賛と感動の拍手が寄せられました。

ワークセンターるーぶ「しんとみ」

支援員 照井 文雄

第1分科会 「高齢障がい者」

高齢化への困難にどう備えるか

「札幌みんなの会」と「俱知安かがやきの会」が担当しました。迫りくる高齢化にともなう困難をどう解決したらいいか、みんなで考える分科会です。

発表者である林さんは、現在60歳。「一般就労で10年働いたものの、長期にわたる入院で仕事を辞めざるを得ず、その後、生活や仕事のことなどで大変苦労したこと。今は、事業所（かがやき）に通っているが、足と腰が痛いので、仕事の内容を配慮してもらったり、移動支援を活用し、通院や、買い物をしている。」との報告がありました。病気のこなど、誰にとっても他人ごとではないので、みんな真剣です。

周りに気軽に相談できる場所や人が必要であること。何より、自分を取り巻く様々な人との関係づくりこそが力になること。また、日頃からの福祉制度の活用も大切ではないかと話し合われました。

俱知安ワークショップ 輝 初山 聡子



第2分科会 「仕事」

一般就労の厳しさ、工賃のつと

「旭川働く仲間の会」が担当しました。最初に司会者が自己紹介をしてから、佐藤さんと佐々木さんから、体験発表がありました。仕事のことや体験した内容で、質疑応答もありました。○×クイズもしました。

休憩してから7つのグループに分かれて、討議をしました。グループごとで自己紹介をし、みんなから仕事の内容や、楽しかったこと、辛かったことを交流し合いました。終わったら、各グループで話し合われたことをグループリーダーが発表しました。

最後にみんなから感想を言ってもらいました。支援者からも感想を言ってもらいました。一般就労の厳しさ、工賃がなかなか上がらないことなど、色々な話を聞くことができました。

「旭川働く仲間の会」 小林 春人



第3分科会 「法律・暮らし」

生きてきて辛かったこと

「トゥモローくしろ」と「北風の会」と合同で進行を担当。前半は、『法律について』がテーマです。「トゥモローくしろ」からの報告と、勉強会でした。

内容は、6月24日に釧路で行われた就労支援に関する勉強会の報告。そして、就

労支援と、グループホームと、ホームヘルパーについてです。就労支援では、4月から新しい内容が加わり、就労移行支援と、就労継続支援Aの年齢制限が撤廃され、年齢に関わらず利用できるようになったことや、グループホームに住んでいてもホームヘルパーが使えることなどが分かりました。

後半は、北風の会が担当し、『暮らしについて』がテーマです。鬼塚朗さんが、「自分の経験から」してんかん発作と家族と私という題で、今まで生きてきて辛かったことを中心に話をしてくれました。質疑応答も行いました。

これからも私たち自身の暮らしが少しずつでも良くなるように多くのの人から意見を聞き、役立てていきたいと思っています。

「トゥモローくしろ」 杉澤 哲哉



第4分科会 「テーマなし」

生き方、考え方を学ぶ

「伊達わかば会」と地元苦小牧の「たるまへの会」が担当しました。

この分科会では「テーマのない分科会」と銘打ち、お金・暮らし・仕事・趣味・夢・悩みなど、参加者それぞれが話をしてみたいことをざっくばらんに語り合いました。開始直後は緊張感も漂っていましたが、時間と共に段々と打ち解け、中盤から終盤にかけては大いに盛り上がりました。

参加者の方からは、「自分とは違う生き方・考え方に触れることで、新たな発見や目標が得られた」といった意見が多く聞かれたほか、「人前で話すのは苦手です」という方も「話しやすい雰囲気だったので、自分も気楽に話が出来た」と嬉しそうに語っていました。

この分科会を通じて得られた仲間・知識・経験等が糧となり、参加された皆様の当事者活動・日常生活が更なる発展につながることを心から願っています。

伊達市障がい者総合相談支援センター『あい』 相談支援専門員 佐藤 大樹



第5分科会 「思い出観光」

お腹いっぱい、思い出いっぱい

工業地帯である苦小牧での思い出観光。他地区と比べると観光スポットが乏しい我が街ではありますが、歌川広重の特別展を含めた美術館見学、リサイクルやごみ対策に力を入れている苦小牧市のゴミ処理施設での紙すきハガキづくり体験を講師の指導の元、行ってきました。

食事は、「イートアップ」という焼肉食べ放題のお店を利用し、総勢164名の育成会メンバーでほぼ貸し切り状態。みなさんデザートまでしっかり楽しみ、大満足の昼食会となりました。

食事の時間をゆったり過ごせたことで、交流が出来た方たちもいたようです。今回の手づくりハガキを使って、苦小牧大会の思い出を送ってみても良いかもしれませんね。

苦小牧市をつなぐ育成会ワークセンター

るーぶ『とよかわ』 佐藤 和子



全体会「人生、命を大切に」

優生思想を考える・救急救命を学ぶ

僕は全体会の担当になり、命の大切さについて参加者12名と議論しました。

前半は、優生保護法と津久井やまゆり園の殺傷事件を題材に、全道各地から参加した仲間たちと、この問題について熱く語り合い、命の大切さを確認し合いました。

後半には、苦小牧市の赤十字奉仕団の皆さんに、人口呼吸と心臓マッサージの仕方を教えてもらいました。災害が起きた時に役立たいと参加者ともども思い、総まとめをして全体会を終りました。

「函館いかす会」 山本 修



平成29年における

「人権侵犯事件」の状況について(抄) ～法務省の人権擁護機関の取り組み～

平成30年3月、法務省人権擁護局から、標記にかかる報道発表がありました。関係する部分をお知らせします。(法務省のHPにその全文が掲載されています)

(8)差別待遇事案

差別待遇事案は785件(対前年比14・9%増加)となった。内訳では、障害者に関するものが272件、同和問題に関するものが86件、外国人に関するものが84件、高齢者に関するものが71件、疾病患者に関するものが44件となっている。このほか、性同一性障害に関するものが17件、性的指向に関するものが6件ある。

事例7 工場管理者による障害者に対する不適切な対応

足に障害がある小学生の親から、子どもが障害を理由に工場見学をさせてもらえないとして、法務局へ電話で相談された事案。

法務局で調査した結果、工場の管理者は、小学校からの工場見学の申込みに対し、被害者が車椅子を使用していることのみを理由に、他の児童と同様の工場見学を認めない旨を学校側に連絡した事実が認められた。

そこで、法務局が工場の管理者に対し、一律の対応ではなく、被害者の親と直接話して

被害者の身体の状態を十分に把握した上で、工場見学参加の可否について再検討するように促したところ、同管理者と被害者の親との間で話し合いが行われ、その結果、被害者は、他の児童と一緒に工場見学に参加することができた。（措置：「調整」）

事例8 遊園地における知的障害者に対する利用拒否

知的障害のある者から、遊園地において、障害を理由にアトラクションの利用を拒否されたとして、法務局に相談がなされた事案。

法務局が相手方遊園地から事実関係について聴取を行い、併せて障害者差別解消法の趣旨等を説明の上、知的障害者の利用を一律に制限する規定の見直しを促したところ、相手方は利用者の症状を個別に判断し利用の可否を決定するよう規定を改正し、後に被害者はアトラクションを利用することができた。

（措置：「調整」）

※「障害者差別解消法」認知度調査（道保健福祉部）も実施中です。ご協力をお願いします。

ストライクを出して 全国（茨城）大会に行こう！

みんなで楽しめるインドアスポーツとして人気の高いボウリング大会のご案内です。
平成2年3月に小樽松竹ボウリング場で第

1回大会が開催されて以来、今年で30回となる「北海道障がい者ボウリング大会」が10月21日(日)に開催されます。大会は、JR小樽築港駅に直結している大型商業施設ウイングベイ小樽の5番街4階にあるオタルボウルで行われます。

療育手帳を所持する平成30年4月1日現在13歳以上の方であれば、どなたでも参加できます。選手の参加料は2,500円。

競技は、2ゲームトータルの点数で競いますが、上位入賞のほかにも、ユニークな賞も設けられており、賞品も用意されています。

来年の10月に茨城県で開催される全国障害者スポーツ大会のボウリング競技に出場する道選手団の予選会も兼ねていますので、全国大会の出場を目指して、エントリーしてみませんか。大会要綱や参加申込書は、左記の主催団体のホームページからダウンロードを。申込期限は9月28日(金)まで。

○主催団体 北海道障がい者スポーツ協会

URL <http://www.do-syospo.or.jp/>

☎ 011-261-6970

FAX 011-261-6201



全道大会苦小牧大会の会場において呼びかけました『西日本豪雨災害義援金』は2日間で、¥30,029円となりました。ご協力に心より感謝申し上げます。被災された育成会会員の健康と、生活再建に役立てていただくため、全国手をつなぐ育成会連合会災害支援義援金口座へ振り込みます。

2019年カレンダー 購入予約好評受付中！

◆壁掛けカレンダー 800円
◆卓上カレンダー 500円

各育成会並びに、育成会関連事業所で行うまとめ、ご注文をいただくこととしています。が、本会ホームページでも直接ご購入いただけます。

【訂正記事】「げっぼう 第726号・P4の収支決算書にある当期経常増減額について、正しくは左から△872,000、△2,393,994、1,521,994でした。ここに訂正し、心よりお詫び申し上げます。

今後の予定

9月1日(土) 特別研修会・チームあい（北見）
9月9日(日) 「親なき後セミナー」（函館）
9月10日(月) 第2回活性化委員会（札幌）
9月14日(金) 「親なき後セミナー」（岩見沢）
9月18日(火) 第2回理事会（札幌）
9月26日(水) 第2回広報・企画専門委員会（札幌）
10月7日(日) 「親なき後セミナー」（旭川）

知的障がい・発達障がい
ダウン症・てんかんの
ある方のための保険

ぜんちの
あんしん保険
東京海上日動の
個人賠償責任補償付
少額短期健康総合保険（無告知型）2016年創設

病気やケガでの
入院



最高日額1万円

虐待・差別・逮捕に
対応



弁護士費用補償

誤って物を壊してしまう…



個人賠償
責任補償
最高5億円

※（総合生活保険（個人賠償責任補償））
引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社

ぜんちの
ことも傷害保険
東京海上日動の
個人賠償責任補償付
権利保護補償付傷害保険（2016年創設）

日常生活でケガを
することが多い…



入院・通院を日額保障

トラブルに巻き込まれた際、
誰も助けてくれない…



弁護士がサポート

特別支援教育を
必要とされている方
のための保険

当事者同士での
解決が難しい…



示談交渉サービス付き

ネット申込・年払・月払OK | クレジットカード払OK ※ネット申込みのみ

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」「東京海上日動の「重要事項説明書」を
よくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

詳しい資料のご請求・お問合せは下記までお気軽にどうぞ

<代理店>

有限会社オフィスブレイン

〒060-0032

札幌市中央区北二条東3丁目2番

札幌セントラルビル3F

TEL:011-207-2522 FAX:011-207-2523



ZENCHI

関東財務局長（少額短期保険）第14号

〒101-0032 東京都千代田区岩本町三丁目5番8号岩本町シティプラザビル5F

コールセンター

ぜんち共済



0120-322-150

検索

32%

http://www.z-kyosai.com/

検索

[2017年12月作成 17-T08668]



AIG損保生活サポート総合補償制度のご案内

安心を
お届けします

2007年4月に日本で誕生した知的障害児者と自閉症児者専用の保険です。

AIG損保の普通傷害保険（2018年1月現在の内容です。）

（知的障害者等福祉団体傷害保険特約セット）

病気やケガまたはその検査のため入院したとき

入院給付金（付添介護保険金、差額ベッド費用、入院諸費用、入院一時金）

他人にケガをさせたり、他人のものを壊して法律上の賠償責任を負ったとき

個人賠償責任保険金：1億円または3億円（1事故あたり支払い限度額）

ケガをしたとき

死亡・後遺障害・入院・通院・手術保険金

地震・噴火・津波危険補償特約セット

病気で死亡したとき

葬祭費用保険金

取扱代理店 株式会社ジェアイシー北海道支店
〒060-0051 札幌市中央区南1条東2丁目
8-2 SRビル4F <http://www.jicgroup.co.jp>
TEL:011-221-7009 FAX:011-221-1704
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

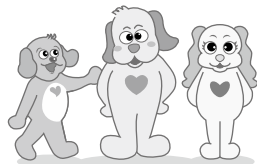
引受保険会社 AIG損害保険株式会社札幌営業支店
〒060-0003 札幌市中央区北3条西4丁目
1-1 日本生命札幌ビル17階
TEL:011-204-7510 <http://www.aig.co.jp/sonpo>
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

北海道知的障害児者生活サポート協会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目
かでの2・7 4階 北海道手をつなぐ育成会内
TEL:011-251-0855 FAX:011-251-0804
(A-000811 2019-12)

このご案内は保険の概要をご説明したものです。詳細は取扱代理店にお問い合わせいただくか、専用のパンフレットをご参照ください。

知的障がい者専用補償制度

♡ アイ・ライフ
I・LIFE



病気に対する補償が新しい!!

- ① すべてのケガおよび病気による死亡（葬祭費用）を補償!
- ② すべてのケガおよび病気による入院を1日目より補償!
- ③ 傷害事故による後遺障害を補償!!（50万円限度）
- ④ 病気入院1日目より年間30日間が補償されます。
- ⑤ 病気入院手術一時金1万円を補償!!
- ⑥ 「疾病性てんかん」「てんかんに伴う転倒事故」「自傷行為」「闘争行為」などによる入院も補償されます。

- ・年払掛金は、36,000円です。
- ・加入対象年齢は、15歳以上～70歳未満となります。
- ・中途加入も可能です。

アイ・ライフ 補償内容

病気・ケガ死亡（葬祭費用）…	50万円
入院（30日限度）…	3,000円
入院差額ベッド代（30日限度）…	1,500円
入院手術一時金（1入院日・1手術日）…	1万円
後遺障害…	50万円（限度）
入院（1事故180日限度）…	3,000円
通院（1事故90日限度）…	1,500円
手術費用…	3万円（入院中） 15,000円（その他）
第三者賠償（免責なし）…	1億円

あなたとあなたの家族が毎日の生活を安心して過ごす為の補償制度、それが **アイ・ライフ** です。

お問い合わせ先
制度補償会



障害者補償会

〒064-0801 札幌市中央区南1条西20丁目2-1 建設管理センタービル8F 担当：石山・笹谷

お電話を頂ければすぐに資料をご郵送致します。

フリーダイヤル **0120-185-001**